

入院診療計画書(ドセタキセル療法を受ける患者さまへ)

ID番号 @PATIENTID
病名 (他に考える病名)

氏名 @PATIENTNAME 様

生年月日 @PATIENTBIRTH3
症状

性別 @PATIENTSEXN

@PATIENTWARD 病棟

@PATIENTROOM 号室

担当医師 @USERNAME 印

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名 @SYSDATE

月日	／	
経過	化学療法当日	2日目
目標	安心して化学療法が受けられる。	副作用について理解できる。
検査	化学療法前に採血があります。 ※外来で実施されることもあります。	
注射	特に予定はありません。 水分・食事がとれないときは点滴をします。	
観察	体温、脈、血圧測定をします。 抗癌剤開始後、5～10分程度、アレルギー症状がないかを観察します。 ドセタキセル投与中は皮膚の発赤・水疱を予防する目的で手足の冷却を行います。 点滴の針が入っているところが痛んだり、腫れてきたりしたらすぐに看護師を呼んでください。	検温があります。気分が悪い時は声をかけてください。
内服	薬剤師が持参薬の確認をします。また、継続して内服する薬をお知らせします。	朝食後に制吐剤を内服します。抗生剤をお渡しします。 退院後38℃以上の発熱が続くときは、お渡しした抗生剤を内服してください。
食事	特に食事の制限はありません。 嘔気予防のため腹8分目に抑えておくとも良いです。 病院の食事内容を変えることもできます。 ご希望の方は看護師に相談してください。	
行動	点滴が入っているときは… 点滴の管を引っ張ったり、身体の下敷きにならないように注意しましょう。 気分が悪いときは一人で行動せず、看護師を呼んでください。	
説明	看護師から入院生活について説明があります。 治療中、治療後の注意事項について説明します。 師や薬剤師から化学療法の方法や副作用について説明があります。	看護師から退院後の生活について説明があります。 外来化学療法を受ける方は、外来化学療法室について説明します。 退院時には、 □退院証明書 □次回予約票 □抗生剤 □退院処方（必要時） を受け取ったことを確認してください。

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。
注3) 特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。
上記内容について説明を受け同意いたしました。

公立大学法人福島県立医科大学附属病院 承認パス(No.297) 承認年月日(2019年9月9日)

特別な栄養管理の必要性

有・無

署名：

続柄：

＜退院後の生活について＞

- 人ごみを避け、外出時はマスク着用しましょう。また、手洗いうがいをし感染予防を心がけましょう。
- 抗癌剤治療の影響で免疫力が下がると口内炎ができたり、お口の中が荒れる場合があります。食事のあとは歯磨きをし、お口の中の清潔を保ちましょう。
- 治療の副作用で便秘になりやすいです。水分をこまめに摂り、食物繊維の多い食事を摂るように心がけましょう。

以下のことがあれば、我慢せずにお電話ください。

- 抗生剤を飲み終わっても、38度以上の熱が続く。
- 嘔吐や吐き気が続き、食事・水分を摂るのが困難。
- 便秘や下痢が何日も続く。
- 痛みが強くなってきた。
- ……など

乳腺外科外来 024-547-1221
みらい棟4階東病棟
024-547-1629